

# 平成30年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 9

千葉県立 千葉北 高等学校 全日制の課程 普通科

## 1 期待する生徒像

次のア及びイを満たす生徒

ア 人物・学業成績がともに優れ、本校での高校生活に意欲的に取り組む意志がある

イ 部活動・特別活動等において顕著な実績または優れた資質を有し、入学後も積極的に活動する意志がある

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者6名程度・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分程度

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

### (2) 調査書

アの数値に、イ及びエについて加点（上限40点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1の教科がある、または評定2の教科が2つ以上ある、または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間欠席なしの場合は加点する。 各学年において欠席が10日以上、または3年間に欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会本部役員の場合は加点する。 運動系部活動の実績については、県大会出場、県大会ベスト8以上、関東大会出場等の段階に応じて、文化系部活動の場合はそれに相当する受賞等に応じて加点する。 英語検定等の取得資格については、特に優れた内容について加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [20点満点]

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ（aaa～ccc）ごとに得点化する。cを含む評価の組合せが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 中学校での活動	中学校時代の部活動・特別活動等についての的確に自己表現できる。
ウ 高校生活への意欲	入学後の部活動・特別活動・学業・進路希望等について、積極的な活動意志があり、具体的に述べることができる。
エ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	(135 + $\alpha$ - m) 点	40点	20点	(695 + $\alpha$ - m) 点

（算式1） $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

m：当該志願者の在籍する中学校の第3学年（義務教育学校にあつては、後期課程の第3学年）の評定の全学年の合計値の平均

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。